

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年2月1日
事業所名	グループホームオーネスト桃花林
事業所番号	2393800020
記入者名	職名 管理者 氏名 會津良子
連絡先電話番号	0568-78-3300

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホームオーネスト桃花林
所在地 (県・市町村名)	愛知県小牧市大字上末字道場580-1
記入者名 (管理者)	會津 良子
記入日	平成20年2月1日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を作っている。 グループホームオーネストの理念 ・残存能力を活かした生活。 ・自己決定を尊重したその人らしい生活。 ・穏やかな普通の生活。	○ ・理念を共有し、利用者がその人らしく生活を続けられるよう支援していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・介護職員室に理念を掲示し、管理者と職員は確認し日々取り組んでいる。	○ ・これからも理念を全員で共有し実践していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・グループホーム入口に理念を掲示し家族や地域の人々に理解していただけるようにしている。	○ ・職員皆が理念を家族や地域の人々に説明できるようにしたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・グループホームオープン当初見学会を行い近所の人達に来て頂いた。 ・希望があれば随時見学等も受け入れている。 ・地域の学生の福祉体験学習の受け入れをしている。	○ ・今後も随時見学等の受け入れを行なっていく。 ・学生の福祉体験学習の受け入れも継続していく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域の子供会の役員の方に見学に来て頂き、年間の行事等を通して交流をしていけるよう話し合いを持っている。	○ ・今年度から自治会や老人会子供会の方たちと行事等での交流を図って生きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・初年度であり行なわれていない。	○	・勉強会等を開催し認知症への理解や介護指導を行なっていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・今年度第一回の評価であり、グループホーム会議や勉強会の中で理解を深めている。またこれをいかして今後改善に取り組んでいきたいと思います。	○	・自己評価、外部評価を活かし改善に取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	・2ヶ月に1回代表の利用者、その家族、地域住民の代表（民生委員、区長）の方、行政の方に参加して頂き報告行い話し合い行なっている。	○	・今後も継続して行っていきたい。出来るだけ多くの利用者や家族に参加していただけるように考えていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・介護相談員の受け入れを行っている。	○	・今後も受け入れを継続しながら質の向上を図りたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・初年度であり行なわれていない。	○	・職員全員が学ぶ機会を持ち理解できるようにしていきたい。今後必要なケースに対しては支援していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・研修や勉強会で学び理解していて、防止に努めている。	○	・今後も継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・グループホームの代表者と管理者が十分な説明を行い利用者や家族に理解していただき納得していただいている。	○ ・今後も利用者や家族に、理解していただき納得していただけるよう十分な説明を行っていききたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・現時点ではきかれていない。	○ ・意見箱等の設置を行い、またそれを活用出着ない人に対しては話しの中で意見を言っていただける機会を持っていきたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	・面会時に報告行い、あまり面会に来られない家族に対しては電話等で報告している。	○ ・今後も情報提供は蜜に行い、家族等に安心していただけるような配慮を継続して行っていく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・現時点ではきかれていない。	○ ・意見箱の設置を行い気軽に意見をいえるような状態を作っていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・グループホーム会議で職員からのい意見や提案を聞き運営会議に提案している。	○ ・職員の意見や提案の中で取り入れるべき内容は反映させていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・できるかぎり要望に配慮し調節している。必要時はそのつど職員の調整行い確保している。	○ ・今後も継続して行っていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・出来る限り移動は最小限にしていくよう話し合いを行いながら努力している。利殖の職員に関しても利用者が混乱したりしないような配慮行っている。	○	・今後も継続していきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内で研修を行い、外部研修にも出来るだけ参加の機軸をもっている。	○	・法人内の研修、勉強会、外部研修等に参加の機軸は今後も出来るだけ確保していきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・法人の中で、当グループホームが始めてであり、地域の同業者との交流ができていない。	○	・管理者や職員が地域の同業者との交流を持ち、情報交換していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・アンケート調査の形で行われている。	○	・ストレス軽減のための工夫等に取り組んでいきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・勤務状況や個々の努力に対して認めている。	○	・今後も継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・本人が直接話ししやすい状態を作り本人自身から直接良く聴くように努力している。そして思いを受け止めるよう心掛けている。	○ ・今後も継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・相談時に家族等が困っていること不安事や望まれている事を十分話していただけるよう働きかけ行い、受け止める努力をしている。	○ ・今後も家族の思いを十分受け止め、安心してサービスを利用していただけるよう配慮していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談時に本人と家族が何をまず必要としているかを見極め情報提供も行っている。	○ ・今後も継続していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・グループホーム入居前に見学して頂いたり、家族等と相談しながら環境を整えたりしている。個別対応で利用者が馴染んで頂ける様、本人の生活歴等の把握に努めている。	○ ・家族等から得た情報を必要な所に取り入れ、また参考にしながら本人が馴染むことができ、安心して生活していけるようにしていく。また家族等に相談し協力を得ていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の願いや希望思いを引き出し、一緒に食事作りや日常生活を行う中で、本人から色々なことを教えられたり、行動を共にすることで支えあう関係を築いている。	○ ・これからも本人との良い関係を作り、生活の場であるということを再認識し、共同生活しながら本人からも学び支えあっていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・職員は家族とコミュニケーションを図り誠実な対応を心掛けている。面会時には近況等をお話することでコミュニケーションを図っている。	○	・職員は家族に対して本人を支えているのは職員も一緒に行っているとの理解を頂ける様努力して生きたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・入居前の本人と家族の関係の理解に努め、グループホームに生活されていても一番はやはり家族ですと常に家族にお話しし、家族とのよりよい関係が維持されるよう支援している。	○	・今後も継続して支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人の知人等の面会にも対応している。	○	・今後も継続して支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・見守りで状況を把握し、そのときの状況によっては管理者や職員が間に入り、利用者が孤立せず支えあい関わり合いを持っていけるように努めている。	○	・今後も継続して行っていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・初年度であり該当するケースがない。	○	・今後該当するケースに対して関係を断ち切らない取り組み、努力していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人との話しの時間を持ち、十分なアセスメントを行っている。困難な場合には家族から話を聞き、本人の状態をみながら本人本位に検討している。	○ ・今後もアセスメントを十分行いその人らしい生活を送って頂けるよう、思いや意向の把握していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・家族から情報提供や本人との話しの中で、入居されるまでの暮らしの把握に努めている。	○ ・グループホームで環境が変わっても、それまでの生活を出来るだけ断ち切らず、それまでの暮らしの維持も図っていききたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一人ひとりどのように一日を過ごされているのかを関わりの中で把握に努めている。また健康面や精神面での状態把握、残存能力の把握にも努めている。	○ ・心身共に安定した状態で暮らしていただけるよう状態の把握に努め、残存能力を活かしていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・計画作成担当者（管理者と兼務）を中心に本人、家族の意向を聞き担当者で話し合い、利用者本位の介護計画を作成している。	○ ・本人がその人らしく暮らしていく為には、利用者本位の計画作成が大切なので今後も実行していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・モニタリングを行い見直しを行っている。状態の変化が生じた場合は話し合いを持ち、その時の状態に合った計画に変更している。	○ ・期間に応じての見直しは継続して行っていく。状態に変化を生じた場合もそのつど話し合いを持ち計画の変更を行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・行動記録に入居者の24時間の変化を記入し、その情報を共有し、個別のケアの実践や計画の見直しに活かしている。	○	・個別記録をより活かしていく。記録には介護計画に沿った実践、結果を記入していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・初年度であり現時点では行われていない。	○	・今後要望があった場合支援していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・初年度であり現時点では行われていない。	○	・今後本人の意向や必要性に応じて地域資源を受け入れていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・初年度であり現時点では行われていない。	○	・外部ケアマネとの情報交換をしていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・初年度であり現時点で情報交換は行っていない。	○	・今後地域包括支援センターとの情報交換をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・月2回往診がある。希望に応じて歯科等の診療も受けていただいている。	○	・今後も継続していきたい。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・医療体制が整い医師との関係を築いている。	○	・認知症の専門医に職員が気軽に相談できる関係を築いていきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・医療体制が整い、看護職との連携をとり、日々の健康管理や活用できるよう支援している。	○	・日常の健康管理は本人の状態を把握していく為に必要であり、看護職との連携を今まで以上にしていきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院時には、病院関係者や家族からの情報収集と退院後のことを相談し、利用者が安心して退院後再びグループホームで生活できるように配慮している。	○	・今後も継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・初年度であり該当するケースはないが、方針は確認している。	○	・今後ケースに対して十分な話し合いを持ち方針を共有していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・グループホームの体勢を管理者、職員と話をし理解を深めている。	○	・今までケースがないがそのような場合話し合いを十分持ち、方針を立て共有化していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・現時点ではグループホームから他の居所へ移った方はいない。	○	・情報交換や話し合いは住み替え時のダメージ防止する為に必要であり行っていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・プライバシーを損ねるような言葉かけ対応はしていない。プライバシーを確保する為の配慮を随所で行っている。個人情報の保管、管理等をきちんと行っている。	○	・今後も継続して保管、管理を徹底していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・何事も本人の思いや希望を出して頂ける様な働きかけを行い、物事に対して本人が納得できるように説明を心掛けていく。	○	・自己決定を尊重し、その人らしく生活出来るよう支援していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・日々のその人の状態を把握し負担にならないように配慮しながらその人のペースでその人の気持ちを大切に、家事等で着ることを行っていけるよう支援している。	○	・一人ひとりのペースを大切にその人らしく毎日を過ごせるよう、思いや希望に添って支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・希望者は施設内の理美容を利用できる。又家族との外出で外の理美容も利用していただけるようにしている。	○	・施設内の理美容を利用したい方が多く、本人の希望に添ってできるよう配慮していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理胃やテーブルの準備、片付け問う出来る事を一緒に行えるよう働きかけ行っている。	○	・今後も一人ひとりの力を活かせる働きかけ行い、一緒に出来るような支援を継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・おやつ、お茶の時間は一人ひとりの嗜好に合わせて飲み物等でも同じように行い、安全面にも配慮し楽しめるように支援している。	○	・今後も継続して支援していきたい。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・一人ひとりの排泄パターンの把握に努め失敗の軽減を図っている。又トイレで気持ちよく排泄できるよう声掛け、促し行っている。保清にも心掛けている。	○	・今後も継続して支援していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・毎日入浴することが出来るが、体調見ながら入浴回数や時間帯を本人の希望に合わせてるように配慮している。	○	・今後も継続して支援していきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・入居前の本人の生活習慣を変えることなく、又日々の状況に合わせて居室での休息等していただけるよう支援していきたい。	○	・今後も継続して支援していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・アセスメント行い、生活歴、楽しみごとを把握し、残存能力を活かした役割を持つことができ、楽しみごとをしながら意欲を持って生活出来るよう支援している。	○	・今後も支援を継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お小遣い程度は預かっている人もいるがその他は全員家族が管理している。時々お小遣いをもち一緒に買い物に出掛けている。	○	・今後も支援を継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・気分転換も兼ねてドライブに出掛けるなどその人の希望に出来るだけ添えるよう支援している。	○	・継続して季節感を感じて頂けるような外出や行事を継続して行い支援していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・お花見、紅葉狩り、初詣等きかくして実施している。参加できる家族にも参加していただいている。	○	・今後も色々な企画を立て実施していきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話を掛けたい方には施設内の電話を使用していただいたり、自分で書けることができない人には職員等が間に入り支援している。	○	・今後も継続して支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・いつでも面会して頂けるようにし、面会時には本人の居室やリビングでゆっくりくつろげるよう支援している。	○	・本人にとってグループホームが居心地良く過ごせる場所であるよう、訪問支援していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・正しく理解していてケアの中で身体拘束はしていない。	○	・今後も正しい理解をもって取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・理解している。居室には掛けていないが玄関は安全確保の為掛けている。	○	・出来るだけ開放の状態ケアしていきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・日常は常に見守り行い居室に居る方は訪室にて様子を伺っている。夜間は1時間おきに巡視行い確認行なっている。	○	・今後も継続していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・自己管理出着ない物（危険と思われる物）は職員が保管、管理している。	○	・今後も継続して危険防止していきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・利用者の状態の把握に努め、変化の有った時には報告や記録を行い全員で事故防止に取り組んでいる。	○	・今後も事故防止に努めたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・職員は救急、救命講習に参加している。夜間は緊急マニュアルができています。	○	・応急手当の勉強会を行ってほしい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・定期的に非難訓練を行っている。	○	・今後も利用者が安心して暮らしていけるよう行ってほしい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・説明は出来る範囲で行っている。	○	・家族等の話し合いを大切にしていきたい。自由な生活の支援を行ってほしい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎日の健康観察で体調の変化や以上のあった場合、速やかに情報を共有し看護職との連携を図っている。	○	・小さな気付きでも情報を共有し対応していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・個人ファイルに薬剤情報を記入し確認できるようにしている。服薬はその都度確認している。	○	・家族、医師、看護とさらに連携を図ってほしい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排泄チェック表に記入しパターンを把握している。水分摂取量のチェックも行い水分補給にも努めている。	○	・排便の確認しにくい方の確認の工夫をしてほしい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・困難な方や不十分な方々を個別に援助している。	○	・今後も支援を継続していきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・毎日の食事、水分摂取量をチェック表に記入している。その方の状態に応じて個別に対応している。	○	・今後も支援を継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・食前やトイレ使用時の手洗いの励行、手すりの消毒、トイレ内部の消毒等をおこなっている。手洗いの時にはペーパータオルを使用している。インフルエンザは予防接種の勧めを行っている。	○	・今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・毎日の台所、冷蔵庫内の消毒、毎晩布巾、まな板を漂白、殺菌している。食材はほぼ毎日必要量を仕入れている。賞味期限のチェックは必ず行っている。	○	・今後も常に管理し、安全面に配慮していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・特養と併設であるがグループホーム独自の玄関が造られている。	○	・グループホームの玄関にドアホンを取り付けしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・テーブルには季節の花を飾り壁の飾り等は過度にならないよう配慮している。	○	・今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・その時々の利用者の状態（様子）に合わせてソファやテーブルの位置を工夫している。	○	・今後も継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・危険物以外、家具等利用者の馴染みの物の持ち 込み自由になっている。家族にも一緒に工夫して いただいている。	○	・今後も継続していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・各個室それぞれ温度調節、換気が出来るよ うになっていてこまめに配慮している。	○	・今後も継続して行っていきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・バリアフリーになっている。各居室には洗面台 が設置されている。浴室、トイレ、廊下等には手 すりが設置されている。	○	・今後も安全にその人らしく生活を送れるよう工 夫していきたい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・居室には馴染みの家具や者を置いていただき、 居室やトイレがわかりやすく表示の工夫がしてあ る。	○	・今後も継続していきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・グループホーム外の庭には利用者と一緒に花を 植えたプランターを置き育てている。また夏には 家族が野菜を鉢植えしてきてくださり庭に置き育 て収穫も行うことが出来た。又庭の散歩コースに はベンチを置き途中で休めるようにしている。	○	・今後ももっと色々な工夫をして楽しんでいただ けるようにしていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ①豊かな自然に恵まれていて四季折々の移り変わりを楽しめます。
- ②ほぼ毎日新鮮な食材を仕入れ利用者に楽しく安心して頂ける様な食事作りを一緒に行っています。
- ③入浴は毎日利用者が希望する時間にゆったりと入って頂けます。
- ④共同生活スペースもゆったり広々していて明るく開放的。